

すずらん

第27号
2018.2

庄原市立西城市民病院
広島県庄原市西城町中野1339番地
TEL:0824-82-2611(代)
FAX:0824-82-2012

西城市民病院だより

飛び出す!

西城市民病院グループ出前講座

気軽にご利用
ください!

市民の皆さまの ご利用ありがとうございます!

西城市民病院では、市民の皆さまが健康で暮らしていただくために、地域に出向いて出前講座を行っています。

平成26年12月から開始したこの事業は年間二十数回実施し、定着しつつあります。

皆さまの要望に応えるべく、職員も積極的に出向いており、近年は西城地域以外からの希望も増えています。内容は、「地域包括医療・ケア、認知症予防、歯科保健、リハビリテーション、薬の飲み方、心と身体の健康づくり」など多岐にわたります。

講座には、医師の他、薬剤師、保健師、理学療法士、歯科衛生士などが出向いています。

皆様、お気軽にご利用ください。

●申し込み・問い合わせ先/西城市民病院 地域連携室
TEL 0824-82-2611(内線205) FAX 0824-82-2012



西城町大屋「今櫛会」で
《医師(郷力院長)による》

1月8日(月)には、今櫛会新春講演会があり、郷力和明病院院長が地域包括ケアシステムについて話しました。参加者からは、「身近な話題でした。先進的な取り組みが実施されていることが再確認できました。システムの維持継続のためには、私たち住民の理解と協力が不可欠だということを実感しました。」との声がありました。

比和町「吾妻園」職員研修で

《理学療法士による》



参加者から

リハビリテーションについて説明を受け、身近にできる体操なども参考になりました。姿勢の大切さを改めて考えさせられる有意義な時間でした。

「西城子育て支援キッズルーム」で

《歯科衛生士による》



参加者から

乳歯が生え始めてケアの方法に悩んでいたのが、私たち(母親)に具体的なアドバイスをもらえてとても参考になりました。

「庄原市北老人クラブ」研修会で

《保健師による》



参加者から

体操をしたり笑ったりして、心と身体が軽くなりました。肩こりが楽になったり、作り笑いが本物の笑いに変わったりするを実感できました。

基本理念

市民の皆さまが安心して暮らせ心の支えとなる病院に

～過疎地域における将来にわたって安定した医療の提供と市民の健康を守り安心して医療が受けられる体制整備に向けて～

基本方針

1. 患者さま第一の、満足いく医療を提供します。
2. 保健・医療・福祉と連携し、地域で安心して暮らせるよう支援します。
3. 救急医療を充実させ、安全で質の高い医療を提供します。
4. 患者さまのプライバシーを尊重し、わけへだてのない医療を提供します。
5. 常に自己研鑽に努め、明るく働きがいのある職場環境づくりをめざします。



西城市民病院市民公開講座で糖尿病予防!



講師の江草玄太郎先生

市民の皆さまの健康づくりと地域包括医療・ケアの推進のために、市民公開講座をシリーズで行いました。パートIIは、世界糖尿病デーキャンペーンの一環として11月14日(火)、西城市民



講演風景

病院2階大会議室において、講演会を開催しました。

「みんなで学ぼう糖尿病!」をテーマに、当院の非常勤医師である広島大学病院内分泌・糖尿病内科の江草玄太郎医師が講演し、45名の参加がありました。

先生は糖尿病についてわかりやすく説明し、特に重症化予防の重要性を話されました。参加

者は、「予防には、食事や運動などの生活習慣がとても大切だということが理解できました。」と話していました。

講演の前には、シルバーリハビリ体操2級指導士(星野忠史さん、小谷勝行さん)による体操実技を行いました。糖尿病予防のためにも体操を継続していただきたいです。



シルバーリハビリ体操

地域包括ケア病床でクリスマス会!

12月25日(月)、当院3階ホールにおいて、在宅復帰への意欲向上のために、季節の行事である「地域包括ケア病床クリスマス会」を開催しました。

はじめに勝部看護師と坂本看

護師がフルートとクラリネットクリスマスソングを奏でてミニコンサートが始まり、そこへ、郷力院長サンタが登場しました。参加された15名の患者さまやご家族は、笑顔で迎えました。

その後、楽しいティータイムを過ごしました。

参加された方々は、素敵な音色にうっとりし、院長サンタから「早く元気になってください。」とプレゼントを渡されて、嬉しそうにほほ笑んでいました。

地域包括ケア病床では、今後も



創意工夫しながら、家族や地域とのつながりを大切にし、退院支援の取り組みを続けていきたいと思えます。



新しい力が加わりました 新規職員紹介



3階病棟 看護師
ないとう 内藤 ゆき
由記

平成29年11月から3階病棟で勤務させていただいております。

出身は岡山県岡山市です。看護師になり14年が経ちました。結婚を期に平成19年から東城町に住んでいます。西城町のことはまだまだわからないことが多いですが、西城町の町並みをみながら通勤するのが楽しみです。

誰しも、体調が悪い時や時には病気に

なってしまう、今まで通りの生活ができなくなってしまうことがあります。そんな時に、西城市民病院が近くにあるから安心だと思っていただけるよう、職員の一員として日々、謙虚に前向きに、思いやりを忘れず頑張っていきますので、よろしくお願いたします。見かけましたら、お気軽に声をかけてください。

休日・時間外を問わず、救急については24時間対応しています。

なるほど 歯科豆知識

第3回 幼児期のポイント(その1)

歯科からお口に関する情報をシリーズでお届けします!



① 乳歯列の完成

2歳半～3歳頃に乳歯が生えそろう(上下合わせて20本)。上の奥歯は見えにくいので仕上げ磨きは、仰向けに寝かせてチェックしてみましょう。乳臼歯(奥2本)の間、上の前歯の間は、むし歯になりやすいので、仕上げ磨きの最後にデンタルフロス(糸ようじ)を使いましょう。

② 6歳臼歯とは?

5歳頃から永久歯が生え始めます。乳歯は抜けて永久歯と交換しますが、乳歯列の奥に新たに生えてくる大臼歯(6歳臼歯)は気づかないことがあります。むし歯にもなりやすいので、仕上げ磨きの時、よく観察して少し見えてきたら、しっかりブラシを当てましょう。



③ 外傷の対応は?

外遊びが活発になり、転んだりぶつかって歯が折れたりすることが多くなります。もしもの時は以下を参考にしてください。

- ◆ 傷口の汚れをきれいに流す。
- ◆ 清潔なガーゼ等で止血する。
- ◆ 歯が大きく折れたり根から抜けていたら、軽く水洗いし乾燥しないようにして、早急に歯科へ持参する(状態により戻せることがあります)。

かかりつけ歯科へ
早めに相談しましょう。



★当歯科では赤ちゃんから高齢者までお口に関する相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

●問い合わせ先/西城市民病院 歯科 TEL(0824)82-2624(直通)

デイサービスで 楽しい忘年会!

西城市民病院デイサービスでは、昨年12月12日(水)忘年会を開催し、会場は利用者の皆さまの大きな拍手と笑い声で盛りあがりました。

今年は、職員が寸劇「浦島太郎」を披露し、1年を笑いでおさめようと企画しました。通常まじめな? 職員の素晴らしい役者ぶりに、思わず立ち上がって楽しむ利用者の方もあり、職員の思いがたっぷり伝わったようです。心が動くとも身体も動きますね。



玉手箱をもらうシーン

西城市民病院 臨床検査科

臨床検査科(通称:検査室)では、4名の臨床検査技師(内非常勤1名)が、医師の指示のもとに、病気の診断・治療や、健診のためのさまざまな検査を行っています。

検査には、患者さまから採取された血液や尿、便などを調べる「検体検査」と、直接患者さまに接して行う心電図検査や肺機能検査などの「生理機能検査」があります。また、インフルエンザ検査などでの鼻腔や咽頭からの検体採取や、皮膚の表面の採取も臨床検査技師が行っています。

当科では、迅速かつ正確な検査を通じて、患者さまの診療支援、健康診断や人間ドックでの病気の予防や早期発見のお手伝いが出来ればと思っています。

「患者さまから親しまれる検査室!」を目指して頑張っています。



左から柳生臨床検査技師、行廣臨床検査技師、菅原臨床検査技師、前花臨床検査技師

早期発見があなたを救う! がん検診! とにかく受けて!

日本人の2人に1人が、がんにかかるといわれています。

がんは高齢者に多い病気ですが、がんにかかる人の約3割は40～64歳で、社会的な問題にもなっています。

当院で健診を受けられた方も、「早期がんを発見してもらいました。自覚症状はありませんでした。ショックでしたが、手術で取り除き、今は元気です。やっぱり健診は大事だとつくづく思いました。」と話していました。

仕事や家事、子育て、介護などが忙しいからとがん検診を受けずにいると大変なことになります。油断は禁物です! 先延ばしをせず、とにかく受けてください!

4月から、平成30年度の健診が始まります。是非、西城市民病院で行う健診をご利用ください。

●問い合わせ先/西城市民病院 医事係 TEL 0824-82-2613



健診の説明風景

西城市民病院 行事食のご紹介



平成29年12月25日のクリスマスメニュー

当院では、患者さまに充実した入院生活を送っていただけるように、行事食を取り入れています。

12月はクリスマス、1月はお正月にちなんだメニューにしました。

患者さまに、少しでも食事の楽しさを感じていただきたいと願っています。

クリスマス献立

- ご飯
- 照り焼きチキン
(千キャベツ)
- パンプキンスープ
- ソテー
(青梗菜・カリフラワー)
- ケーキ



西城市民病院 管理栄養士 岩崎真紀

西城市民病院 ボランティア活動のご紹介

西城市民病院では、ボランティアの方々のご支援をいただいております。

病院待合や玄関に設置している椅子・車いすなどの整備をしてくださっているボランティアの方をご紹介します。

横町にお住いの松島清美さんです。3年前、当院外来受診サポーターとしてボランティア活動を始めたことをきっかけに、日頃気がついたことを改善してくださっています。

「患者さまが「冷たい」と言いながら車いすに座られたことで、クッションと手編みのカバーをつけることを思いつきました。自分のできることをやってみようと思ってやっているだけです。」と静かに語られます。玄関の長いすで家族やタクシー等を待つ患者さまが少しでも暖かくとの思いで、長いすに暖かい布のカバーを取り付けてくださり、患者さまにとっても喜んでいただいています。また、車いすの掃除や点検もいただき、患者さまに気持ちよく安全に活用していただいています。

「患者さまや周囲の方からの温かい声掛けで、「これからも続けていこう」という気持ちになります。」と話されます。

職員も松島さんの患者さまに対する心遣いを学びたいといつも思っています。

ボランティアの皆さんの心温まるご支援に感謝いたします。



玄関付近でボランティアをする松島さん

日頃から、西城市民病院を支えていただきありがとうございます。病院長の年頭のごあいさつに、「常に患者さまの気持ち(心)を理解できる医療を提供していきたい」という言葉がありました。私たち職員一同、心をつなげて、「住み慣れた地域で自分らしく生きる」ためのお手伝いできればと考えています。先日、1月27日(土)の広島ホームテレビ番組に、当院の地域包括医療・ケアの状況や役割などが紹介されました。今後も地域医療の推進に引き続き努めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

次回は、平成30年5月を予定しています。ご意見等、お寄せください。

【西城市民病院広報委員会】